

平成25年度 前期選抜の選抜・評価方法(予定)

学校番号 114

千葉県立木更津高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校志望の意思が強く、本校の教育方針を理解し、次のア及びイの要件を具備する者。

ア 学習成績が優秀で、自己の目標に向かって努力し、その成果が期待できる資質のある者。

イ 高校生活全般にわたって積極的に取り組み、自らを高めようとする意欲のある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	評価項目の各評価を基にして A, B, C の3段階で評価する。
(4) 志願理由書	記載内容について評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
学力検査	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	欠席が20日以上のある学年があるかどうか審査し、選抜の判断材料とする。
ウ その他の記録	その他、特別活動等の記録で、特記すべき内容があるかどうか審査し、選抜の判断材料とする。

(3) 面接

集団面接を実施し、総合評価を A, B, C, の3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	①明確なものである。 ②前向きである。
イ 入学後の意欲	①目的意識をもっている。 ②進路に具体的な目標がある。
ウ 質問に対する応答	①趣旨を理解し、簡潔明瞭に応答できる。 ②適切な言葉遣いがなされている。
エ 服装・態度	①服装、頭髪、身だしなみが中学生らしく整えられている。 ②姿勢や視線、態度に落ち着きがみられる。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由	①志願する動機や理由が明確である。 ②論旨が明確である。 ③誤字・脱字がない。 等を総合的にみて A, B, C の3段階で評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき「学力検査の成績」、「調査書」、「志願理由書」及び「面接検査の結果」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(ア) 「学力検査の得点」、「調査書の全教科の評定の合計値を算式1により求めた値」のそれぞれに順位を付けたときに、それらがともに次の範囲内にある者を入学許可候補者として内定する。

(a) 受検者が予定人員以内のときは、受検者数の80%

(b) 受検者が予定人員を超えるときは、予定人員の80%

ただし、下記の点に該当する者は審議の対象とする。

① 教科の評定に1がある。

② 面接または志願理由書の評価が C である。

③ 調査書の行動の記録及び総合所見等に、特に問題となる記述がある。

④ 調査書の出欠の記録で、欠席が20日以上のある学年がある。

(イ) 上記(ア)で決まらなかった者については、「学力検査の得点」と「調査書の全教科の評定の合計値を算式1により求めた値」の合計値に順位を付け、「調査書」、「志願理由書」及び「面接検査の結果」等を総合的に判定して入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜の資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

平成25年度 後期選抜の選抜・評価方法(予定)

学校番号 114

千葉県立木更津高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
学力検査	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	欠席が20日以上のある学年があるかどうか審査し、選抜の判断材料とする。
ウ その他の記録	その他、特別活動等の記録で、特記すべき内容があるかどうか審査し、選抜の判断材料とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき「学力検査の成績」、「調査書」を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(ア) 「学力検査の得点」、「調査書の全教科の評定の合計値を算式1により求めた値」のそれぞれに順位を付けたときに、それらがともに次の範囲内にある者を入学許可候補者とする。

(a) 受検者が募集人員以内のときは、受検者数の80%

(b) 受検者が募集人員を超えるときは、募集人員の80%

ただし、下記の点に該当する者は審議の対象とする。

① 教科の評定に1がある。

② 調査書の行動の記録及び総合所見等に、特に問題となる記述がある。

③ 調査書の出欠の記録で、欠席が20日以上のある学年がある。

(イ) 上記(ア)で決まらなかった者については、その「学力検査の得点」と「調査書の全教科の評定の合計値を算式1により求めた値」を算式2に代入する。得られた値に順位を付け、「調査書」を含め総合的に判定して入学許可候補者とする。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜の資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。